

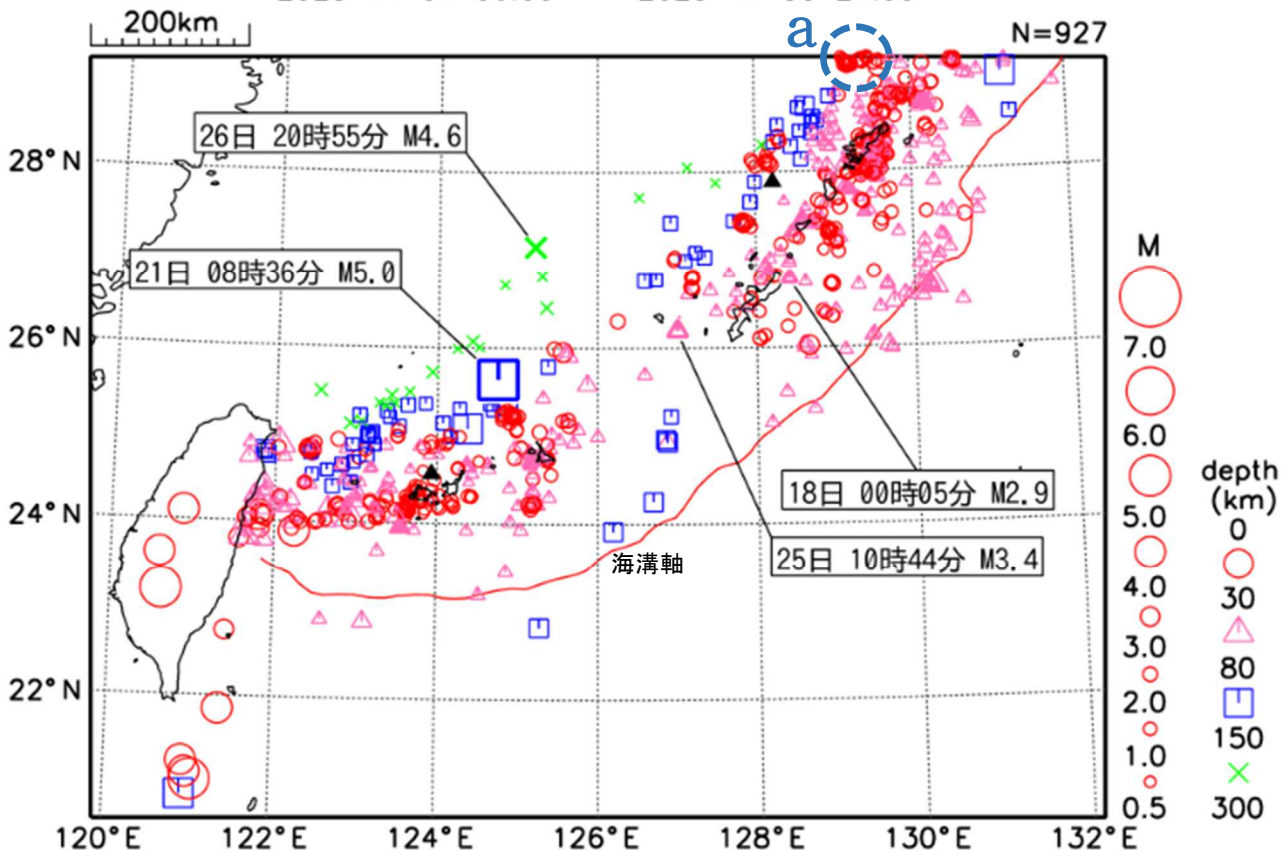
沖縄地方の地震活動

令和 7 年（2025 年）11 月

沖縄気象台

図 1 沖縄県及びその周辺の震央分布図

2025 11 01 00:00 -- 2025 11 30 24:00



図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ
N：地震の回数（マグニチュード0.5以上の回数です）
▲：活火山

沖縄県内で震度 1 以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。

[概 況]

今期間に沖縄県内で震度 1 以上を観測した地震は 4 回（10 月も 4 回）でした。

11 月の主な活動は次のとおりです。

トカラ列島近海（図中の領域 a）では、6 月 21 日から地震活動が活発になっており、7 月 3 日 16 時 13 分には M5.5 の地震（最大震度 6 弱）が発生しました。一連の地震活動は、7 月 20 日頃から低下してきており、規模が大きな地震の回数も減少していますが、活動は継続しています。

18 日 00 時 05 分に沖縄本島近海で発生した地震（M2.9、深さ 31 km）は、繰り返し沖縄本島近海で発生している地震の一つです（沖縄地方の繰り返し地震については、末尾の URL 参照）。

21 日 08 時 36 分に宮古島北西沖で発生した地震（M5.0、深さ 121 km）により、宮古島から波照間島にかけて震度 2 ～ 1 を観測しました。

図 2 - 1 沖縄本島付近の震央分布図及び断面図

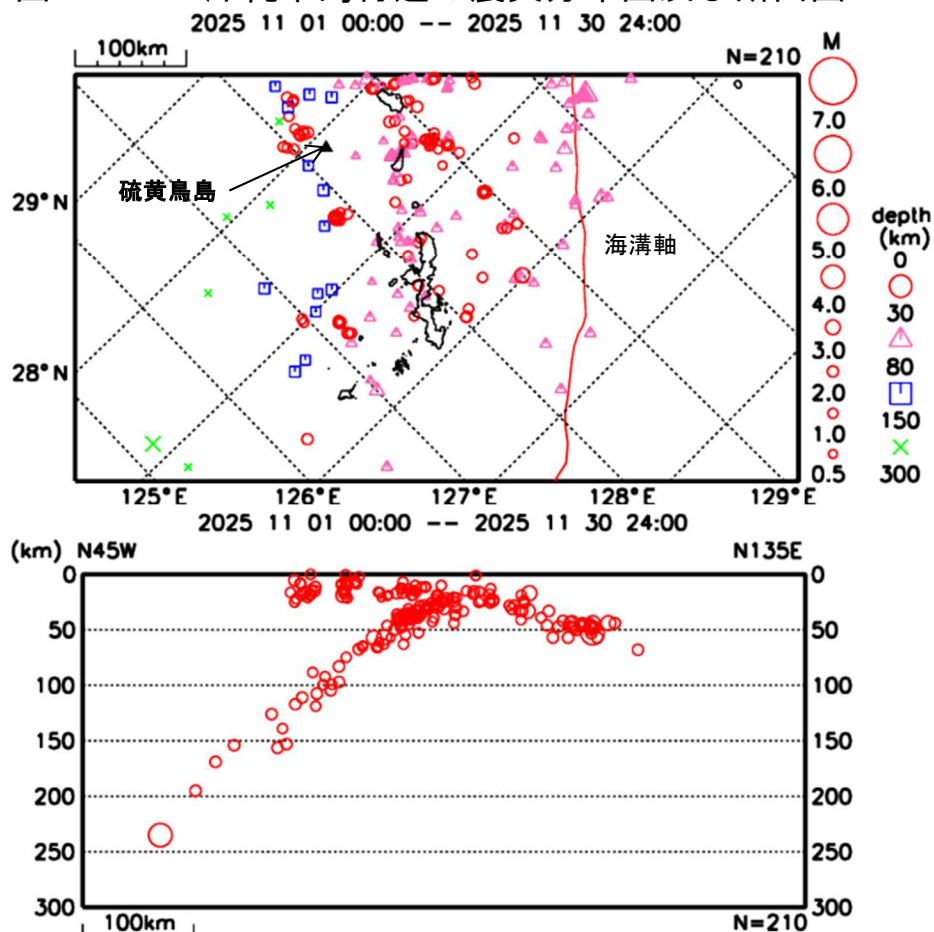


図 2 - 2 宮古・八重山諸島付近の震央分布図及び断面図

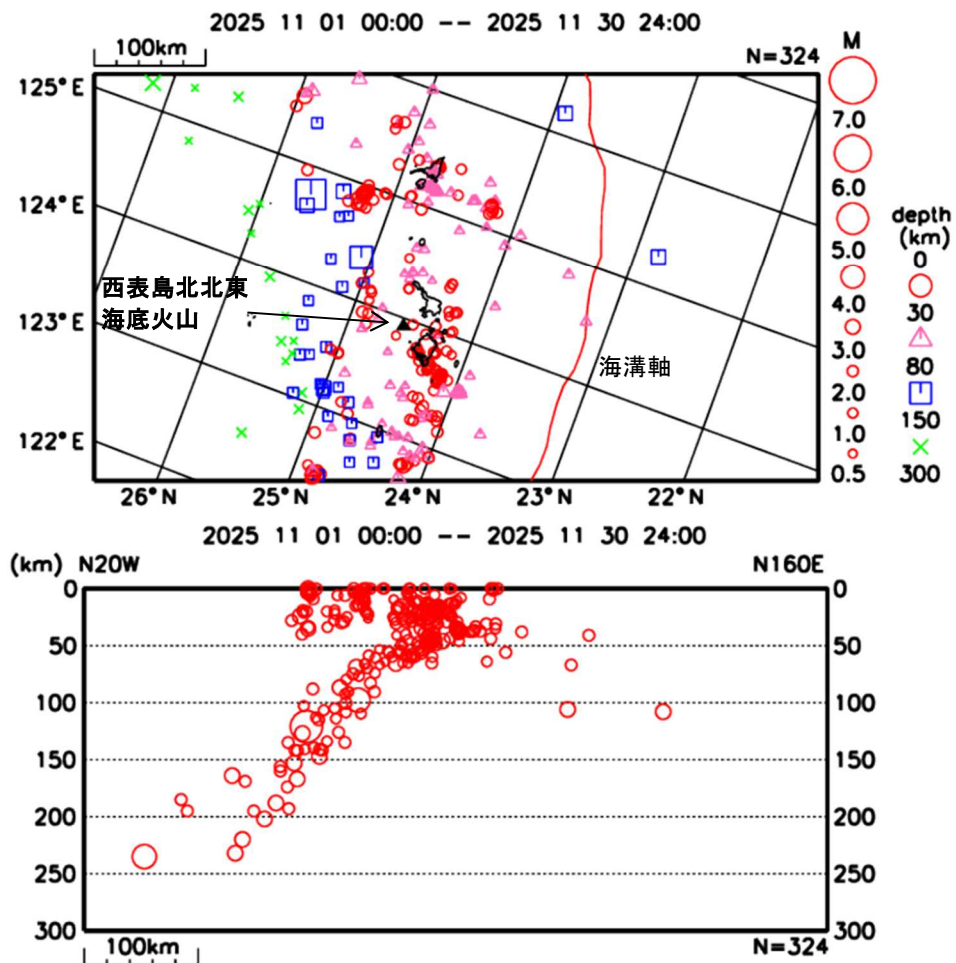
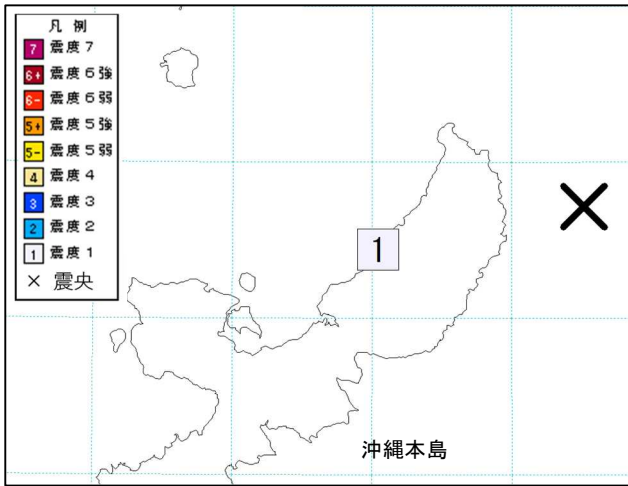
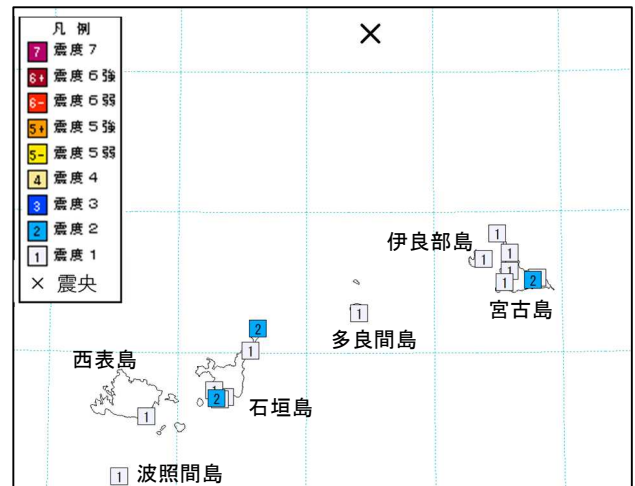


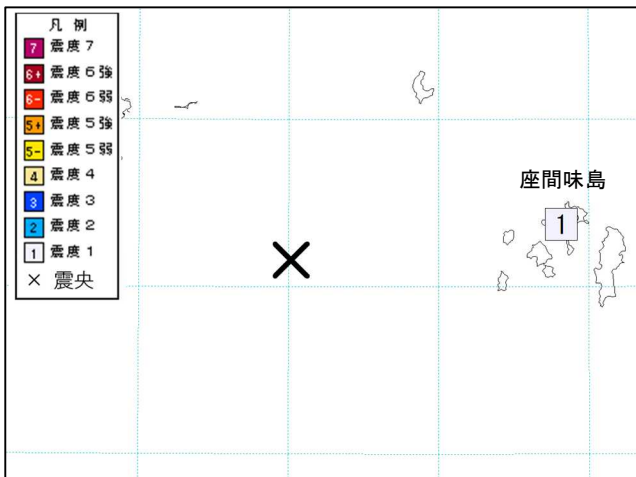
図3 震度分布図



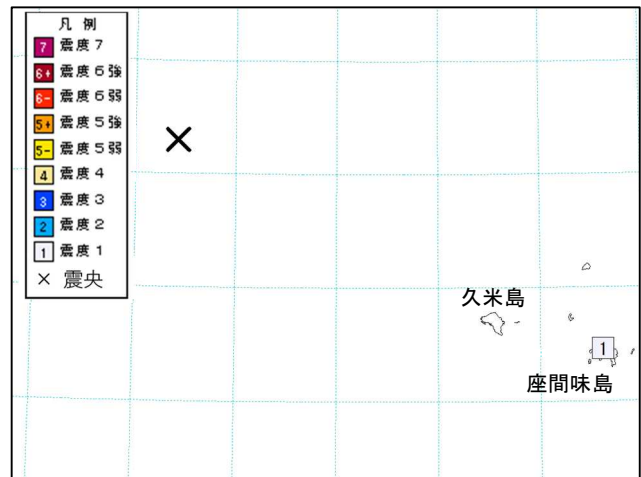
11月18日00時05分 沖縄本島近海 深さ31km M2.9



11月21日08時36分 宮古島北西沖 深さ121km M5.0



11月25日10時44分 沖縄本島近海 深さ57km M3.4



11月26日20時55分 東シナ海 深さ235km M4.6

表 1 沖縄県内で震度 1 以上を観測した地震の表（期間 11 月 1 日～11 月 30 日）

震源時 各地の震度	震 央 地 名	緯 度	経 度	深 さ	規 模
2025年11月18日00時05分 沖縄県 震度 1：国頭村辺土名＊	沖縄本島近海	26° 47.1' N	128° 25.1' E	31km	M2.9
2025年11月21日08時36分 沖縄県 震度 2：宮古島市城辺福西＊, 石垣市平久保, 石垣市新栄町＊ 震度 1：多良間村塩川, 宮古島市城辺福北, 宮古島市平良池間, 宮古島市伊良部前里添 宮古島市平良狩俣＊, 宮古島市下地＊, 宮古島市平良西里＊, 石垣市登野城 石垣市新川, 石垣市伊原間＊, 石垣市真栄里＊, 竹富町大原, 竹富町波照間	宮古島北西沖	25° 38.3' N	124° 45.2' E	121km	M5.0
2025年11月25日10時44分 沖縄県 震度 1：座間味村座間味＊	沖縄本島近海	26° 11.5' N	127° 00.1' E	57km	M3.4
2025年11月26日20時55分 沖縄県 震度 1：座間味村座間味＊	東シナ海	27° 08.9' N	125° 12.8' E	235km	M4.6

＊の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※沖縄地方以外に震度が観測された場合は、その震度も記載します。

※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025 年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

詳細は沖縄気象台ホームページで閲覧できます。

URL <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/jishin/quake.html>

震度 1 以上を観測した地震の震度分布図は、気象庁ホームページ「震度データベース検索」でご覧になれます。

URL <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

地震・津波・火山に関する防災一口メモ

URL <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/known/memo/sougou.html>

沖縄地方の繰り返し地震

URL <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/jishin/quake.html>

本件に関する問い合わせ先：沖縄気象台地震火山課 098-917-7927

火山現象に伴い発生する津波

～ 地震による津波と同様に防災対応をとりましょう！ ～

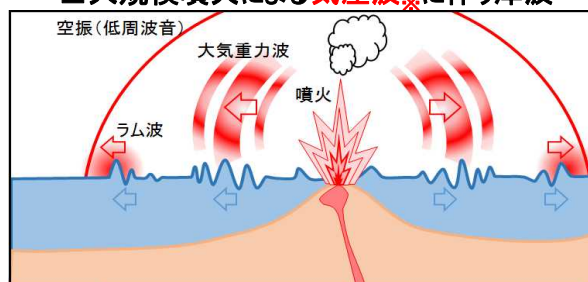
2025年11月19日18時20分頃、インドネシアのスメル火山で大規模噴火が発生しましたが、津波や潮位の変化は観測されていません。しかし、過去には、**地震が発生していない場合でも、大規模噴火等の火山現象に起因する「気圧波」や火山噴火に伴い山が崩壊し海へ土砂が流れ込む「山体崩壊」等により津波が発生する場合があります（右の模式図参照）。**

海外の火山噴火による気圧波に伴う津波として、2022年1月15日に発生したフンガ・トンガーフンガ・ハアパイ火山の大規模噴火により、日本に至る経路上の海外の津波観測点では小さな潮位変化でしたが、国内では鹿児島県の奄美市小湊で**134cm**など日本の各地で津波を観測しました。沖縄県内では、最大**35cm**の津波を観測しました。

この事例を踏まえて有識者による検討会を行い、現在、海外で大規模噴火が発生した場合には、気象庁は「遠地地震に関する情報」を発表し、津波への防災対応が必要となる可能性があることをお伝えしています。その後、国内等で潮位変化を観測し、**観測値が津波警報・注意報の発表基準を超えた場合には、津波警報等を発表します。**

火山現象に伴い発生する津波の場合でも、津波警報等が発表された場合の取るべき行動は地震による津波の場合と変わりません。**日頃から地震津波への備えを行い、津波警報等を見聞きした場合、沿岸部や川沿いから離れ、安全な場所を目指して避難しましょう。**

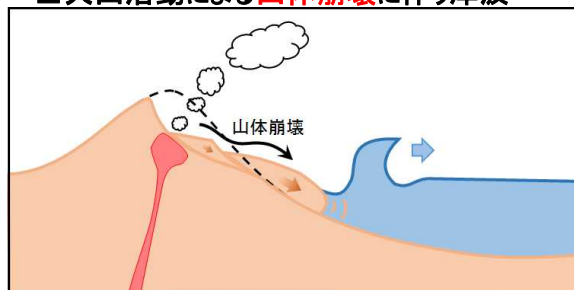
■大規模噴火による**気圧波**に伴う津波



火山噴火 → 気圧波の発生 → 潮位の変化

※気圧波には、伝わる速度が相対的に速い「ラム波」と速度の遅い「大気重力波」がある。

■火山活動による**山体崩壊**に伴う津波



火山噴火 → 山体の崩壊 → 潮位の変化

地震以外の火山現象等に伴い発生する津波の模式図



（参考URL）

地震や火山現象等に伴い発生する津波
https://www.data.jma.go.jp/egev/data/tsunami/various_causes.html

津波から身を守るためのとるべき行動



地震に関する情報は

沖縄気象台ホームページまで

<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/index.html>

沖縄気象台

検索

